

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

施設名	高松市香南産地形成促進施設(香南アグリーム)		
指定管理者	有限会社香南町農業振興公社	施設所管課等	農林水産課
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市香南町岡1270番地13ほか	業務の概要	(1) 農業用施設の利用貸与及び管理・運営 (2) 体験農園・市民農園等体験施設の管理・運営 (3) 加工体験施設の管理・運営 (4) 産直施設の管理・運営 (5) 農畜産物販売・交流施設の管理・運営
施設の概要	(1) 複合経営促進施設 (2) 体験農園・市民農園 (3) 加工体験施設 (4) 香南朝市 (5) 喫茶スペース、体験施設		

	項目名	令和4年度	令和3年度	項目名	令和〇〇年度	令和〇〇年度
利用状況等	利用者数	70,550 人	63,260 人			
収支状況等	指定管理料	12,674 千円	14,254 千円		千円	千円
	収入実績	54,354 千円	52,284 千円		千円	千円
	支出実績	72,178 千円	67,746 千円		千円	千円

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	関係法令に基づき、適正な安全管理等、施設の維持管理・運営を行った。また、個人情報保護マニュアルを整備し、全職員への取扱いの徹底を図っている。環境に配慮した取組みをセミナーで広く普及した。	A
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	農業を体験する拠点施設として、また、地産地消の促進のため、住民が気軽に施設を利用できるよう努めている。収穫体験の品目も逐次増やしている。施設内では、車いすの配置及びバリアフリー化を図っている。	A
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	香南朝市において、出荷者及び品目の増加に努め、SNS等で販売促進に力を入れた。昨年度に引き続き、周辺施設と相互連携して宣伝を行っている。食育への関心が高まる中、香南アグリームでの収穫・料理体験のニーズは高いと思われる。今後も喫茶部門とも連携しながら、利用者数の増加に努めていきたい。	A
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	時間外労働は極力実施せず、適切な人員配置に努めた。施設経費については、専任の税理士・社労士を設け適切な管理に努めた。	B
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	昨年度に引き続き、省エネを徹底するとともに、必要経費の見直しを行い、運営経費の削減に努めた。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
<p>令和4年度は光熱費や原料費の高騰の影響を大きく受けた年となった。節電や必要経費の削減等に取り組みながらの運営となるも、営業実績については極めて厳しい一年となった。</p> <p>マルシェや収穫祭等のイベントについては、規模を縮小し、感染防止対策を取りながら開催するなどの工夫を行うなど、施設利用者数は前期から増加し、農業交流施設としての認知度は年々向上しているものと思われる。引き続き、収穫体験メニューの拡充と、貸し施設(工房・展示室)の利用率向上に向けて積極的に取り組んでいきたい。</p> <p>一方、施設の老朽化は進んでおり、施設修繕の執行に当たっては、市と適切に連携し、効率的な対応をお願いしたい。</p> <p>今後も、周辺施設やグリーン・ツーリズム施設と連携し、施設の認知度を更に高めるとともに、食育と地産地消促進の場としての利用が図られることを期待している。</p>	B